

科目名		卒業試験			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	義肢装具士科3年	通年	必修・選択	必修

【授業の目的・ねらい】

義肢装具士国家試験に合格できる知識を十分有することを自身で見極める。

【授業全体の内容の概要】

これまで行ったすべての講義、実習、演習の振り返りを行った後、国家試験形式による模擬試験および卒業試験を行う。

【講師の実務経験】

義肢装具士として、川村義肢株式会社に勤務。装具・下肢義足に精通している。

【授業終了時の達成課題(到達目標)】

- ・国家試験合格レベルの知識と解法の習得。
- ・知識の体系化・深化の意義と、臨床との繋がりをイメージできる。

回数	講義内容
1	校内模擬試験1
2	校内模擬試験1
3	校内模擬試験2
4	校内模擬試験2
5	校内模擬試験3
6	校内模擬試験3
7	校内模擬試験4
8	校内模擬試験4
9	校内模擬試験5
10	校内模擬試験5
11	各種対策(基礎から応用まで)
12	各種対策(基礎から応用まで)
13	各種対策(基礎から応用まで)
14	各種対策(基礎から応用まで)
15	各種対策(基礎から応用まで)

【準備学習・時間外学習】

基礎の復習、応用問題への取り組みをすすめる。

【使用テキスト】

書籍名	著者名	出版社
義肢装具国家試験対策問題集		株式会社滋慶

【単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)】

課題評価は、模擬試験4回の合計50%と卒業試験2回の合計50%の割合で合計し、その評価とする。